

2008.9.6

バーバーとアメリカ音楽 ～抒情と躍動の世界～

プログラム

アメリカのクラシック音楽の歴史はヨーロッパからの移民によって始まったとされています。歴史あるヨーロッパを中心としたクラシック音楽に比べ軽視され、見過ごされてしまいがちですが、個人的で、魅力溢れる作品が数多く存在します。今日は近代アメリカ保守主義の大家、バーバーを中心としたアメリカ音楽を特集します。ジャズやアメリカ民謡を巧みに取り入れ独自の音楽を築き上げたコープランドの躍動的な管弦楽曲、アメリカの生んだ最初の大作曲家と言われるマクダウェルのロマンティックな名作。そして現代映画音楽の巨匠ジョン・ウィリアムズの作品も合わせて聴いていただきます。

アーロン・コープランド (1900～1990) :

エル・サロンのメヒコ

ディヴィット・ジンマン指揮ボルティモア交響楽団
(1994.11.11 サントリーホールLive)

サミュエル・バーバー (1910～1981) :

ソプラノと管弦楽のための“ノックスヴィル～1915年の夏～” op.24

バーバラ・ボニー (ソプラノ)
小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ
(1998.9.9 松本文化会館Live)

弦楽四重奏曲第1番短調 op.11～第2楽章アダージョ

エマーソン弦楽四重奏団
(1997.7 ドナウ、アルトミュール・サマーコンサートよりLive)

ジョン・ウィリアムズ (1932～) :

バルセロナ・オリンピック～ファンファーレ (NBC-TV用)

映画“E.T.”～地上の冒険

ジョン・ウィリアムズ指揮ボストン・ポップス・オーケストラ
(1993.6.21 昭和女子大学人見記念講堂Live)

*** 休憩 ***

サミュエル・バーバー (1910～1981) :

フルートとピアノのための“カンツォーネ” op.38a (ピアノ協奏曲第2楽章の編曲)

ジェーン・バックストレッサー (フルート) / イスラエル・マルグリット (ピアノ) (EMI盤)

ヴァイオリン協奏曲 op.14

ギル・シャハム (ヴァイオリン)
アンドレ・プレヴィン指揮ロンドン交響楽団 (1993.6録音 グラモフォン盤)

エドワード・アレクサンダー・マクダウェル (1861～1908) :

ピアノ協奏曲第2番短調 op.23 ～ 第1楽章、第3楽章

ジェフリー・シーゲル (ピアノ)
レナート・スラトキン指揮バイエルン放送交響楽団
(1993.4.16 ミュンヘン、ガスタイクホールLive)